

たいけん がた かん じ こう ぎ  
体験型漢字講座



第11回姫路漢字探検隊 (全国通算第265回) 「漢字探検隊」は登録商標です。

# 「科学館と漢字」クイズラリー

科学にちなんだ漢字を主題に館内を見学しながら漢字の成り立ちなどを学びます。

## えっ! 科学館で漢字!?

行こうよ!

日時 2025年 2/23 祝

第1部 10:00~12:00 (受付 9:30~9:55)  
第2部 13:30~15:30 (受付 13:00~13:25)

対象 小学生以上

定員 各部60名 (申込先着順)

※保護者の方も参加費・観覧料が必要です。  
※姫路科学館観覧料は、右の二次元コードで → 同館HPをご参照ください。

参加費 おひとり500円 + 姫路科学館観覧料

場所 姫路科学館 (姫路市青山1470-15)  
※神姫バス「星の子館前」下車  
※無料駐車場あり。

### お問合せ・お申込先

学校法人立命館 立命館大学  
衣笠キャンパス 地域連携課  
(白川研 文化事業 事務局)

- ▶ お申込み WEB からお願いします。  
WEB <https://ws.formzu.net/dist/S46274841/>
- ▶ お問合せ  
Eメール [toyomoji@st.ritsumeai.ac.jp](mailto:toyomoji@st.ritsumeai.ac.jp)



\*この活動では、団体広報や子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。  
撮影した写真や映像等は、広報用にHPやSNS、刊行物等に掲載することがあります。  
なお、子どもゆめ基金へ報告用に提出した個人情報(写真)は、「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。

主催 学校法人 立命館 立命館大学 白川静記念 東洋文字文化研究所  
後援 姫路市 協力 姫路科学館 立命館アカデミックセンター

■この催しは、子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成によるものです。

## 白川 静ってどんな人？

漢字の成り立ちを調べると、大昔の人の暮らし方や考え方が分かります。これまでは、2000年前の字書に書かれていた成り立ちを、後の人もずっと正しいと考えていました。



しかし、「そうではない」と自分の考えを表したのが白川静先生です。

およそ60年前のことです。白川先生は、大昔の人が亀の甲羅や獣の骨に刻んだ字を研究して、漢字の成り立ちについての新しい考えを発表しました。

## 大人の方へ

白川静博士（1910-2006）は、東洋研究の第一人者。中国古代人の生活や信仰にまで踏み込んで古代文字を分析。漢字の成り立ちについて、2000年来の解釈を覆す理論を打ち立てました。立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所は、白川博士の研究成果を元に、東洋文字文化について広く社会一般を対象とした教育と普及を行い、また学術研究の分野において東洋文字文化研究の進行と高度化を図ることを目的に活動を行っています。

## 漢字教育士とは

漢字の成り立ちや学説を理解し、漢字についての幅広い知識を身につけ、漢字の楽しさを知り、漢字の魅力を伝えることができると、立命館大学白



川静記念東洋文字文化研究所が認定した方です。

現在、全国で約1100名の方が漢字教育士の資格を取得し、小・中・高校、書道教室以外にも、学

童保育、放課後教室、カルチャー教室等に活躍の場を広げています。



詳しくは、

[漢字教育士](#)

[検索](#)

## おしえて漢字くん!

## YouTubeにて公開中!

『おしえて漢字くん!』は、小学校1年生で学習する漢字80

字を取り上げ、楽しく歌って漢字の成り立ちに興味をもってもらうことを目的にした動画です。白川研認定の「漢字教育士」の有志が、作詞・作曲・編曲を手がけました。

漢字には字源（成り立ち）と系統（つながり）があり、いろいろな漢字が密接に結びついています。そのため、漢字を学ぶ際にも、読む・書くにとどまらず、その原理を理解することが大切です。この歌は、ブロックのように順番をバラバラにして、五十音順や学習順など用途に合わせて利用することもできます。

[おしえて漢字くん](#)

[検索](#)